

リアの車高を調整する場合 ショックのストローク長を必ず確認をお願いします

整備士資格を持った方と作業を行ってください。



出荷時車高では適正值に設定済みですが、車両個体差等もありますので確認をお願いします。

リア車高を10mm以上調整した場合、正しい乗り心地を確保する為ストローク長の調整が必要になります。

リアの車高調整はスプリング下に取付けるリアアジャスターで行います。



計測方法: リフトから車両を降ろし水平な場所で車両を前後に動かします。例として3メートルほど動かしてください。

シフトレバーをPに入れエンジンを停止し、サイドブレーキは引かない状態で計測します。

タイヤが地面に設置している状態で左図の様にダストブーツ(バンブラバー一体式)をストップする部分まで下げます。



注: 説明のためタイヤを外した状態にしています。またダストブーツの一部をカットしています。

ダストブーツを下げたら左図の様にストローク長を計ります。

ストローク長が70mm±10mmから大きくずれていると乗り心地が悪くなりますので調整してください。

70mm以上ある場合はショックを伸ばすとストローク長が縮みます。

70mm以下の場合にはショックを縮めるとストローク長が伸びます。

